

第43回 島根緑内障研究会

(日眼専門医制度生涯教育認定事業 No.59217)

プログラム

日時：2026年11月15日(日)

10時00分～13時05分

場所：ART PARK HOTEL (旧ニューウェルシティ出雲)
島根県出雲市塩冶有原町 2-15-1 (〒693-0023)
TEL 0853 (23) 7388

会費：学会費 3,000 円

(コメディカル等・学生 無料)

- 一般講演時間は 15 分 (講演 10 分, 討論 5 分) です。
- 発表はデジタルプレゼンテーションです。PC・USB メモリ等をご持参ください。
- 本学会は日眼専門医制度生涯教育事業の認定を受けております。
IC カードをご持参ください。
- 発表者は当日、200 字～400 字程度の抄録をご提出ください。

島根緑内障研究会
島根県眼科医会
興和株式会社

—開会のあいさつ（栢田 尚 会長）（島根県眼科医会）（10:00-10:05）—

一般講演（10:05-11:50）

座長 杉原 一暢 講師（島根大学眼科学講座）

1. Hydrus 緑内障マイクロステント連続症例の治療成績

○下地拓朗¹，村上華奈¹，小池みずき¹，吉田悠人¹，高木啓伍¹，大谷雛瑚¹，
井田千紗子¹，杉原一暢¹，庄司拓平²，谷戸正樹¹

（1. 島根大学眼科学講座，

2. 小江戸眼科内科 白内障・緑内障・糖尿病クリニック）

2. 有水晶体眼と眼内レンズ挿入眼におけるプリザーフロマイクロシャント単独手術成績の比較

○内藤貴之¹，小池みずき^{1,2}，三木貴子³，高木啓伍¹，吉田悠人¹，杉原一暢¹，
内藤知子³，庄司拓平⁴，谷戸正樹¹

（1. 島根大学眼科学講座，2. 東京女子医科大学八千代医療センター，

3. グレース眼科クリニック，

4. 小江戸眼科内科 白内障・緑内障・糖尿病クリニック）

3. プリザーフロマイクロシャント単独手術と白内障同時手術における術後成績の比較

○和波善愛¹，小池みずき^{1,2}，三木貴子³，高木啓伍¹，吉田悠人¹，杉原一暢¹，
内藤知子³，庄司拓平⁴，谷戸正樹¹

（1. 島根大学眼科学講座，2. 東京女子医科大学八千代医療センター，

3. グレース眼科クリニック，

4. 小江戸眼科内科 白内障・緑内障・糖尿病クリニック）

4. 隅角手術既往眼におけるプリザーフロマイクロシャント術後成績の3施設での検討

○井田千紗子¹，小池みずき^{1,2}，三木貴子³，高木啓伍¹，吉田悠人¹，杉原一暢¹，
内藤知子³，庄司拓平⁴，谷戸正樹¹

（1. 島根大学眼科学講座，2. 東京女子医科大学八千代医療センター，

3. グレース眼科クリニック，

4. 小江戸眼科内科 白内障・緑内障・糖尿病クリニック）

5. プロスタグランジン関連眼窩周囲症がプリザーフロマイクロシャント術後成績に与える影響

○高木啓伍¹，小池みずき^{1,2}，三木貴子³，吉田悠人¹，杉原一暢¹，内藤知子³，
庄司拓平⁴，谷戸正樹¹

(1. 島根大学眼科学講座，2. 東京女子医科大学八千代医療センター，
3. グレース眼科クリニック，
4. 小江戸眼科内科 白内障・緑内障・糖尿病クリニック)

6. Evaluating Tube Resistance in Glaucoma Drainage Devices Using Measured and Formula-Derived Pressure

○Arief Abdurrazzaq Dharma^{1,2}，Sachiko Kaidzu¹，Andi Masdipa²，
Virna Dwi Oktariana Asrory^{3,4}，Masaki Tanito¹

(1. Department of Ophthalmology, Shimane University Faculty of Medicine,
2. Faculty of Medicine, Universitas Muslim Indonesia,
3. Faculty of Medicine, Universitas Indonesia,
4. Cipto Mangunkusumo Hospital)

7. 当院におけるチューブ径の異なる緑内障チューブシャント手術の成績比較

○大谷雛瑚，井田千紗子，藤野友里，一ノ瀬元成，木村樹里，高木啓伍，吉田悠人，
杉原一暢，谷戸正樹
(島根大学)

特 別 講 演 (12:00-13:00) ～ランチョン形式～

座長 谷戸 正樹 教授
(島根大学眼科学講座)

角結膜疾患を併発する緑内障に対する治療戦略

上 野 盛 夫 先生

(京都府立医科大学大学院医学研究科 視覚機能再生外科学 准教授)

角結膜疾患を併発する緑内障では、眼表面の不整や角膜厚の影響で正確な眼圧評価が困難であること、角膜混濁のために詳細な視神経乳頭の評価や緻密な視野検査が施行できないことなどにより病期の見極めに苦勞する。病型診断において重要な隅角鏡検査が困難なこと、眼圧上昇の機序が感染、炎症、ステロイドレスポnder、眼内細胞増殖による隅角閉塞など多岐にわたり、使用薬剤や術式の選択に迷う。加えて術式の選択には角膜内皮細胞障害や角膜移植後拒絶反応の再燃など角結膜疾患特有の合併症への配慮が必要である。本講演では角結膜疾患を併発する緑内障に対する我々の治療戦略や低侵襲緑内障手術と角結膜疾患を併発する緑内障に対する有用性を紹介する。さらに我々が近年開発した角膜内皮再生医療である培養ヒト角膜内皮細胞移植についても解説する。本講演が角結膜疾患と緑内障を併発した患者の視機能維持の一助となれば幸いである。

—閉会のあいさつ(谷戸 正樹 教授)(13:00-13:05)—